

令和 4 年度当初予算（案）と下水道事業中長期経営計画「計画値」との比較

令和 4 年度当初予算（案）と見直しを行った投資・財政計画の令和 4 年度の計画値との比較表は裏面のとおりです。

下水道使用料を令和 3 年度の収入見込みを基に積算しなおした金額で計上した点や一般会計における令和 4 年度当初予算（案）に合わせた金額で計上した点を除き、概ね計画どおりの予算案となりました。

中長期経営計画に掲げる財政計画の主な指標の達成度は次のとおりで、いずれの項目の目標も達成する予算案となっています。

1. 自己資金（内部留保資金）

（自己資金は、財政基盤を強化し健全な経営を維持するため、令和 8 年度末残高 11 億円以上を最低限確保します。）

令和 4 年度は、約 13 億 1,300 万円の確保を見込んでいます。

入間市下水道事業中長期経営計画における計画値 12 億 6,000 万円

2. 企業債

（各年度の借入額は当該年度の償還元金以内とします。企業債を減少させ、また、事業費の財源として有効に活用するため、発行限度額を 4 億円とします。）

令和 4 年度は、約 1 億 9,800 万円の発行を見込んでいます。

入間市下水道事業中長期経営計画における計画値 2 億 1,800 万円

3. 一般会計補助金（一般会計繰入金）

（一般会計補助金は、市長部局と負担割合を定め、適正な額の繰入れに努め抑制を図ります。）

令和 4 年度は、約 1 億 9,900 万円の繰入れを見込んでいます。

入間市下水道事業中長期経営計画における計画値 2 億 2,800 万円